



# 第9話 肺炎球菌感染症

2014年11月

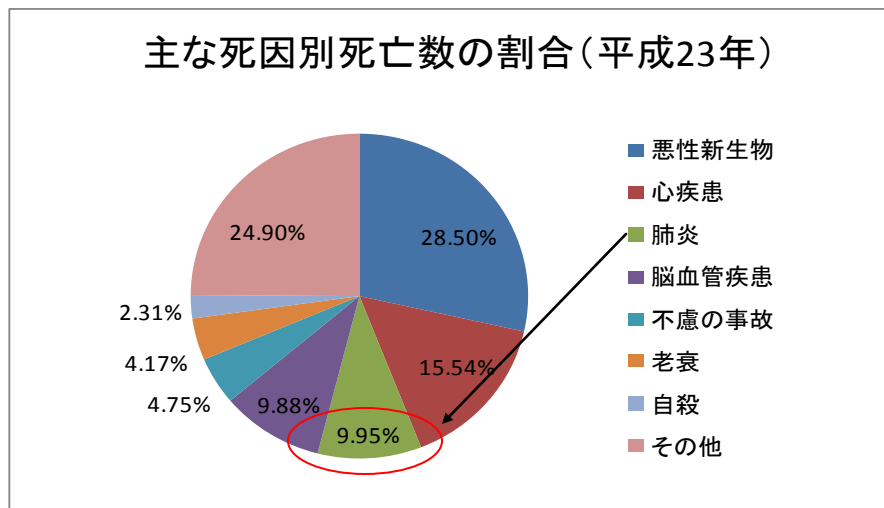
平成26年10月1日から高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました！

「肺炎球菌ワクチン」「肺炎球菌感染症」は最近になり、テレビ等で耳にすることも増えてきましたが、今一度、病気と予防接種について考えてみましょう。

## ご存知でしたか？

死因数・死亡率では「肺炎」は、昭和50年以降平成22年までは第4位でした。しかし、高齢化にともない平成23年には「脳血管疾患」にかわり**第3位**に上昇しました。

そして、肺炎で亡くなる方の**95%以上が65歳以上の方**なのです。

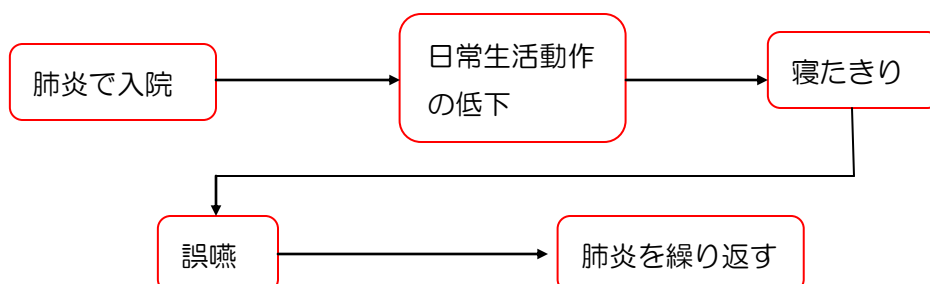


厚生労働省 平成23年人口動態統計月報年計(概数)の概況より作成

## なぜ、肺炎の死亡率が増えているの？

高齢者が肺炎にかかり入院をした場合、肺炎は治っても入院生活によって生活動作(立つ・歩く・食べる等)の低下がみられ寝たきりになる場合が少なくありません。

寝たきりになると、食べ物の飲み込みがうまくできなくなり誤嚥(ごえん:食べ物が胃ではなく気管の方に入ってしまう)をおこしやすくなります。この誤嚥により細菌が肺に入り肺炎をおこすということを繰り返し、次第に薬が効かなくなり肺炎で死亡する方が増えているのです。



## 肺炎球菌感染症とは？

肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。

免疫のはたらきが十分でない乳幼児や高齢者にさまざまな病気を引き起こします。

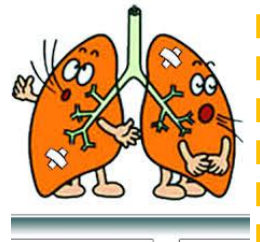
肺炎球菌によって引き起こされる病気には、肺炎、気管支炎等の呼吸器感染症や副鼻腔炎、中耳炎、髄膜炎、菌血症などがあります。



## 高齢者における肺炎球菌感染症

日本人の約3～5%の高齢者では、鼻やのどの奥に菌が常在しているとされます。

65歳以上の高齢者においては肺炎球菌が肺炎の原因菌の第一位を占めています。さらに近年では多くの薬剤に耐性を示す多剤耐性肺炎球菌が急増しており、治療が困難な例もあります。



## 肺炎球菌感染症の予防

- ・手洗い、うがいをきちんと行う
- ・歯磨きなどで口の中を綺麗に保つ
- ・規則正しい生活習慣で免疫力を低下させない
- ・肺炎球菌ワクチンを接種することで、肺炎にかかりにくくする肺炎にかかったとしても重症化することを防ぐ



## 肺炎球菌ワクチンについて

### ① 高齢者のワクチン接種はいつから？

高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの定期接種は平成26年10月1日より開始されました。



### ② どこで受けられるの？

高齢者の肺炎球菌の定期接種の実施主体は市町村になります。

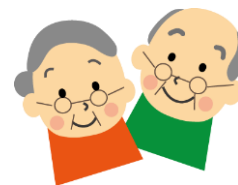
※接種できる医療機関や自己負担金など詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

### ③定期接種の対象者は？（平成26年度）

以下のとおりとなっています。

1.

対象者	生年月日
65歳となる方	昭和24年4月2日生～昭和25年4月1日生
70歳となる方	昭和19年4月2日生～昭和20年4月1日生
75歳となる方	昭和14年4月2日生～昭和15年4月1日生
80歳となる方	昭和9年4月2日生～昭和10年4月1日生
85歳となる方	昭和4年4月2日生～昭和5年4月1日生
90歳となる方	大正13年4月2日生～大正14年4月1日生
95歳となる方	大正8年4月2日生～大正9年4月1日生
100歳となる方	大正3年4月2日生～大正4年4月1日生
101歳以上	大正3年4月1日以前の生まれ



2. 60歳から65歳未満の方で

心臓、腎臓、呼吸器の機能に身の日常生活が極度に制限される程度の障害や、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方。

3. 次にあげる方も接種対象になります。

・過去に肺炎や、肺炎球菌感染症にかかった方

→肺炎の原因は様々であり、肺炎球菌には多くの血清型がありますので、過去に肺炎や肺炎球菌感染症にかかっている場合でも、定期接種の対象になります。

・接種対象年齢において、病気にかかって長く療養していて、接種を受けられなかった。

→接種対象年齢において、長期に渡り療養を必要とする病気にかかっていたために、定期接種を受けることができなかったと認められた場合、長期療養特例として定期接種を受けることができます。特例に該当するかどうかは医学的判断が必要です。詳細についてはお住まいの市町村にお問い合わせください。

### 接種による副反応は？

接種後に注射部位の腫れや、痛み、赤みなどが見られることがあります。また発熱や筋肉痛などが見られることがあります。これらの反応は通常3日以内に自然消失します。症状が続く場合や、悪化する場合はすみやかに医療機関を受診してください。

**高齢社会に達した今日、治療だけでなく予防がとても重要です。**

**ワクチン接種は予防の第一歩です！！**